

在宅医療だより

佐野市医師会における在宅医療の歩みと現状



佐野市医師会 小倉医師会通りクリニック 小倉 重人

在宅医療の歩み

佐野市医師会としての在宅医療の取り組みとしては以前からあった佐野呼吸器疾患勉強会が始まりと思われま

す。この勉強会の中で呼吸器疾患の在宅でのケアおよび看取りに関する議論があり 10 年近く前に有志を募り肺ケアチームという肺疾患末期における在宅医療に関するチームが発足しました。

この時当面は肺疾患が中心であるがゆくゆくは在宅医療全般に広げていこうというスタンスで始まり、在宅医療に必要な知識技術の勉強会および基幹病院との病診連携等の話し合いを行いながら在宅患者の受け入れ可能診療所の情報提供を主に行っていました。

ただし在宅に移行してからの横の連携（診診連携）に関してはほとんどないのが実情で主治医不在時の対応に関しても祝祭日のみ順番に対応する、佐野休日夜間診療所の担当医が対応する等の意見がありましたが意見の一致は見られず、多くは個人の頑張りで行っていたため参加者の増加はほとんどなく忘れ去れつつあった状態でした。

ここに転機が訪れたのが在宅医療連携拠点促進事業への参加です。県からの委託を受けたこの事業を佐野市と共同で H27 年 11 月から開始しコーディネーターとして専任職員を雇用したのがきっかけでした。医師会内で在宅医療に関する検討を重ねた結果、肺ケアチームを発展させた形でコーディネーターを中心とした佐野市在宅医療ネットワークが本年 5 月に発足しました。

在宅医療の現状

佐野市医師会内には在宅療養支援診療所は 7 施設ありますが訪問診療を行なっている診療所は 30 施設あり 24 時間対応の施設も 16 施設あります。また昨年度の看取りに関する在宅での看取りは 56 件、介護施設での看取りは 97 件ありました。これに関しては当医師会に限らないと思いますが在宅療養支援診療所の有無に関わらず多くの診療所が在宅医療を行なっている現状があります。また訪問看護ステーションは 6 施設、在宅歯科診療を行なっている歯科医院は 26 施設、訪問薬剤指導を行なっている調剤薬局は 13 施設あります。ただ多職種へのアンケート調査では訪問

診療を行なっている医療機関が少ないという意見が多数ありました。これはかかりつけ患者の往診はするが癌患者等医療依存度の高い患者の訪問診療の受け入れをする医療機関が少なく基幹病院からの在宅医療に向けての退院調整が難しい状況があるようです。また情報不足ということもあると考えられます。これらに関しては今後の課題であり医師会内で検討していく必要があると考えています。

佐野市在宅医療ネットワーク

本年 5 月より 22 施設の参加を得て佐野市在宅医療ネットワークが発足し、24 時間 365 日の切れ目ない在宅医療の提供の方針のもと在宅医（在宅医療を行う医師）の不在時における連携を主な目的として活動しております。

具体的な内容ですが、在宅医は不在時の日時、患者の状況、訪問診療先の場所等を在宅医療連携コーディネーターに電話あるいはメール等で代診を依頼する。コーディネーターは参加医療機関に一斉に代診依頼のメールをする。代診可能医が複数いる場合は場所、代診回数等考慮して依頼医に代診医を紹介する。（ここまでは患者個人が特定できるような情報は触れないこととする。）その後は依頼医と代診医の間で診療情報のやり取りをしていただき代診していただく。

現段階では在宅での看取りを希望されている患者であり訪問看護を利用していることを原則としています。（当然ですが代診の承諾を得られていることが前提です。）看取りに関しては初めて診察する患者の死亡診断書を書いていいのかとの議論がありましたが主治医により継続して診療されており診療情報提供書により情報共有もできています。さらに看取りに関しても家族への承諾をいただいた患者であり問題ないと思っております。

現在まで 3 件の依頼があり全て代診医とのマッチングはうまくいっており依頼された医師からは好評を得ております。（幸いいずれも看取りにはなりませんでしたが）

いろいろ経験を積みながら今後もより良い連携が出来るよう改良していきたいと思っております。